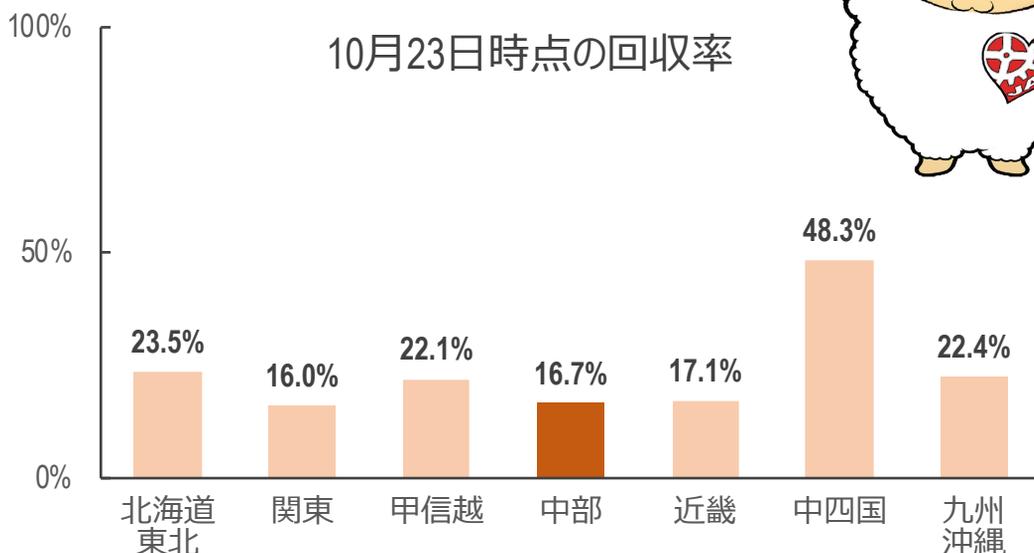


# どうする!?!?!?

# 中部ブロック

## 臨床工学技士の 業務実態調査2019



対象 日本臨床工学技士会 正会員

実施期間 2019年10月1日(火)～10月31日(木)

方法 Web (eアプリバド) から回答

当会HP (URL : <http://www.ja-ces.or.jp/ce/>) からeアプリバドにログインの後  
オレンジ色の「業務実態調査2019」のバナーより回答ください。

こちらから



あなたが行なっている日頃の業務について教えてください。調査は5分程度です。  
ご回答は、我々 臨床工学技士が将来に向けて発展するための資料となります。  
お忙しいことと思いますが、ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

(公社)日本臨床工学技士会

統計調査委員長  
常任理事 (中部ブロック)  
組織強化機能委員

大塚 紹  
高道 昭一  
神戸 幸司

令和元年 10 月吉日

公益社団法人 日本臨床工学技士会会員各位

公益社団法人 日本臨床工学技士会  
理事長 本間 崇 (公印省略)

## ご協力のお願：「臨床工学技士の業務実態調査 2019」について

謹啓

時下 貴殿におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、当会の活動に ご理解ご協力をいただき深謝申し上げます。

さて、1990 年 2 月 1 日に設立いたしました日本臨床工学技士会は 2002 年 3 月に社団化、2012 年 4 月に公益社団法人となり、様々な事業や活動を実施してまいりました。その間、私たちを取り巻く環境も大きく変化し、業務も大きく変化しております。

また、昨今の医師の働き方改革の推進に対しては様々な医療専門職へのタスク・シフティングが医師の業務負担軽減に資すると期待されています。また、少子高齢化の時代に対応する地域包括ケアの推進に対しては在宅および遠隔医療の拡充、それに関連したサイバーセキュリティ対策が課題とされています。この局面において重要なことは、臨床工学技士をどのように活用できるのかについて行政機関や関係団体に対して提示することです。そのためには、当会会員諸氏がどのような業務を行っているのか、その実態を把握させていただく必要がございます。

つきましては、下記の「臨床工学技士の業務実態調査 2019」にご協力賜りたく存じます。調査データは行政機関への政策提言や関連団体との折衝に対する貴重な資料となります。また、当会へのご意見は今後の事業に反映したいと考えております。時節柄ご多忙のことと存じますが、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

末筆になりますが、貴殿のますますのご健勝を祈念いたします。

謹白

記

- 1) 調査：臨床工学技士の業務実態調査 2019
- 2) 対象：全正会員
- 3) 実施期間：2019 年 10 月 1 日（火）～2019 年 10 月 31 日（木）
- 4) 方法：Web（e プリバド）

当会 HP（URL：<http://www.ja-ces.or.jp/ce/>）から e プリバドにログインの後、オレンジ色の「業務実態調査 2019」のバナーより回答ください。

以上